

平成 26 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基本目標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち

政策目標 2 恵まれた環境を未来につなぐまちに

重点的取組 1 次世代に引き継ぐ地球環境を守る

担当課名	環境産業部 環境政策課		
予算科目	予	会計	01 一般会計
	算	款	04 衛生費
	科	項	01 保健衛生費
	目	目	06 環境保全対策費

事業名	環境都市創造事業	事業開始年度	平成 25 年度
	(ラムサール条約登録湿地利活用推進事業)	根拠法令 条例 個別計画等	・ラムサール条約 ・宮島ラムサール条約連絡協議会設置要綱

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	市、市民、国内外他地域	宮島がラムサール条約湿地に登録され、国際的に重要な湿地として評価されたことを受け、条約に基づく登録湿地の保全・再生、交流・学習及び賢明な利用を進めるため、市民や関係者、国、広島県、廿日市市など多様な主体が参加する宮島ラムサール条約連絡協議会を設立し、関係者が一致して登録湿地の保全活動を促進し、適正な管理に資することを目的とする。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
宮島ラムサール条約連絡協議会	ミヤジマトンボ保護管理連絡協議会、環境省、広島県、市民	・宮島ラムサール条約連絡協議会行動宣言の趣旨に沿い、廿日市市の自然環境に係る保全・再生、交流・学習、賢明な利用の促進。

3 平成26年度 予算(事業の内容・コスト情報・目標到達見込)

活動内容	(事業の内容)							
	<ul style="list-style-type: none"> ・宮島ラムサール条約連絡協議会を開催し、湿地のこれからのあり方や具体的な取組みについて協議する。 ・ラムサール条約登録湿地関係市町村会議を通じて、先進自治体の学習交流会などの活動について情報収集を行ない、本市のラムサール条約関連事業展開の参考とするとともに、視察により現地調査を行う。 ・ラムサール条約、ミヤジマトンボや宮島の自然などに関するパンフレットやリーフレットなどを作成し、市民や観光客に宮島の魅力を紹介する。また、宮島栈橋旅客ターミナルなどに紹介パネル、看板を設置する。 ・宮島の海浜及び湿地の環境保全と景観を守るため、海浜清掃を実施する。 							
活動内容	(事業費) (千円)							
	【歳入】 ・地域廃棄物対策支援事業補助金 1,000 【歳出】 ・宮島ラムサール条約連絡協議会委員等報償費 259 ・主管者会議、先進地視察等旅費 210 ・パンフレット、ポスター等印刷製本費 771 ・看板等作成、海岸清掃業務委託料 2,645 ・湿地渡船料 150 ・登録湿地関係市町村運営負担金 40 ・事務連絡交通費(バスビー) 6 (合計) 4,081							
コスト情報(円)	項目		平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	平成 26 年度予算			
	財源内訳	直接事業費 A	0	457,000	4,081,000			
		国庫支出金						
		県支出金			1,000,000			
		借入金(市債)						
		その他(使用料など)						
		市(市税など)	0	457,000	3,081,000			
	人件費(按分) B	人	0.40 人	2.10 人				
	総事業費(A+B)	0	3,957,800	21,954,100				
到達目標	単位コスト	① 人口(4月1日現在)	118,000 人	118,000 人	117,680 人			
		市民1人当たり	0	34	187			
到達目標	単位	②	0	0	0			
		活動及び成果指標	H24実績値	H25目標値	H26目標値	H27目標値	備考	
到達目標	成果	小学生向け環境講座(ミヤジマトンボの生態)受講者数	人	34(1)	200(2)	300(3)	300(3)	(実施回数)
		宮島ラムサール条約連絡協議会開催回数	回	-	2	2	2	
		受講者のうち、湿地環境保全に関心を持った人数	人	32	190	285	285	
		ラムサール条約登録湿地認知度	%	-	-	-	50	H24フォーラム100人